

2019  
2



## M氏コレクションによるJ・J・グランヴィル展関連 「もうひとつの世界」を探検しよう！



- 開催日時：2月2日（土）13:30～16:00
- 参加者：こども19名と保護者
- 対象：小学生以上
- 参加費：100円
- 場所：アトリエ2、常設6展示室

### ■参加者の作品例



### ■参加者の感想

- ・J・J・グランヴィルさんの絵がとても面白かった。またみんなの発案がとてもユニークだった。
- ・絵を見たり、実際に描くのが楽しかった。発表をがんばった。絵を見てテキストを書くのが楽しかった。
- ・みんなそれぞれの考え方がありました。

### ■保護者の声

- ・子どもだけでなく大人も一緒に楽しめました。
- ・正解がなく独創性が広がる取り組みで面白いと思いました。
- ・イベント内容がとても中味が濃いもので子供たちは大満足だったと思います。低学年の子も作品を見た後にそれを取り入れて自分の世界を作りだしているのすごかったです。

### プロセス

#### ■解説

はじめに鈴木学芸員と横田学芸員がグランヴィルの作品についてお話ししました。生き物が合体したり、入れ替わったり、変形したりする不可思議で幻想的な世界を紹介しました。

その後展示室へ移動し、『もうひとつの世界』シリーズに関するお題に挑戦しながら鑑賞しました。絵の中の小さな生き物を探して、スケッチしたりどんな生き物なのか考えたりしました。



#### ■鑑賞

挿絵の小さな作品なので、ルーペを使って見ていきます。すると生き物たちのさまざまな表情まで読み取ることができます。本当に細かい部分にまでこだわって描かれていることが感じられます。親子一緒になって、作品を覗きこんでいる姿が印象的でした。見過ごされがちな細部まで発見したことで、グランヴィルの作品世界に深く触れてもらえたようでした。

#### ■制作

グランヴィルにならって、もうひとつの世界やそこに住むへんないきものたちを描きます。朝と夜やロボットと水槽などの予想外の合体によって、グランヴィル超え(!?)の独創的な世界ができあがりました。背景となるストーリーも一緒に考えて、自分だけの「もうひとつの世界」が完成しました。



#### ■発表

最後の発表では作品に込めた思いをたくさん話してくれました。描いたモチーフそれぞれにストーリーや設定があり、こだわりが詰まっていることが伝わってきます。他の参加者たちの「もうひとつの世界」に驚いたり、感心したりしながらの楽しい発表会になりました。スタッフもみなさんの想像力や発想に心躍らせながら聞き入りました。



#### ■ふり返って

- ・こどもたちは、グランヴィルの描く不思議な生き物を名付け、さらに自分なりの「もうひとつの世界」を生み出しました。その発想の拡がりたるや！とても驚き、またうれしく思いました。（鈴木学芸員）
- ・グランヴィルの小さな作品から大きな発見をしたこどもたちが作り出した「もうひとつの世界」はどれも予想以上に独創的でワクワクしました。こどもたちののはてしない想像力に感服です！（横田学芸員）